

## 評価シート 様式

取組名	地域発案型映画づくりを起爆剤とした活性化事業の実験的試み		
実施団体名	特定非営利活動法人 茨城の暮らしと景観を考える会	対象地域	旧水戸藩の主な地域である水戸市と本県北地域
(代表団体名)		推薦団体名	茨城県商工労働部観光物産課、水戸市

① 実施 状況	<p>提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。</p> <p><input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。</p> <p><input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。</p> <p>(備考・特記事項)</p> <p>映画製作のスケジュールが当初の予定より遅れたことにより内容を見直し、適切に実施したと判断される。</p>	② 実施 体制	<p>平成20年度に行われた取組の実施体制について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。</p> <p><input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。</p> <p><input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたと判断できない。</p> <p>(備考・特記事項)</p> <p>状況に合わせて、実施体制を見直して取組を進めたことは評価できる。</p>
	③ 効果		<p>平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について</p> <p><input type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。</p> <p><input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかったと認められる。</p> <p>(備考・特記事項)</p>

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

## 評価シート 様式

取組名	地域発案型映画づくりを起爆剤とした活性化事業の実験的試み		
実施団体名	特定非営利活動法人 茨城の暮らしと景観を考える会	対象地域	旧水戸藩の主な地域である水戸市と本県北地域
(代表団体名)		推薦団体名	茨城県商工労働部観光物産課、水戸市

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見 地域全体として映画づくりに向けた機運を高める取組であり、相乗効果・波及効果の点で評価できる。
	○ 評価
	<input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。
	<input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。
	(評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)
	<p>本取組は、地域発案型の映画制作を核に、映画に関連する取組を多方面に行うことにより、ともすれば話題になりにくい映画の知名度向上にとどまらず、県民の幅広い参加によって郷土愛を醸成し、映画づくりを契機として地域づくりの機運を高めた点で、相乗効果、波及効果の大きいユニークな企画であり、非常に高く評価できる。</p> <p>今後は、映画づくりを契機とした地域の魅力の再確認と、地域資源を活かした取組が映画の舞台となった地域の広範囲にわたって継続的に展開されるよう留意しつつ、地方の元気再生事業による支援を行うことにより、継続的な取組が行われるものと期待できる。</p> <p>具体的には、取組①「映画のロケ支援」については本年度に実施できなかった取組であり、事業を円滑に進める上で必要な支援である。取組②「フィルムや映画関係者の利活用」については、映画制作が当初のスケジュールより遅れていることを踏まえ、実施内容を精査すること。取組③「地域資源の活用とロケ地周遊ルートの確立等」については、本年度の取組成果を活かし、集中と選択を図っていただきたい。取組④「100万人の映画鑑賞運動」については、より幅広い市民の参加につながるよう、具体的な運動方針を検討されたい。なお、取組⑤「情報の受発信」のうち、①～④の取組と共通する部分については、効率的な実施を図られたい。</p>